

弘浄院だより



弘浄院は後藤寛浄が院主の真言宗の寺院です。よろしくお願ひ致します。

いちき串木野市

冠嶽山 鎮国時 徐福花冠祭に参加して

鹿児島県の西北部にあるいちき串木野市生福地区に冠岳という霊山があります。その山の中腹部に高野山真言宗 冠嶽山鎮国寺頂峯院というお寺があります。私は数年前からこちらのお寺に関わらせて頂いています。毎年地元の活性化と福祉への寄付などを踏まえ春には徐福花冠祭、秋にはかんむり岳参り、という寺院と地域、そして自治体であるいちき串木野市が手を結んでのお祭り、全国的にもめずらしいとのこと。仏教寺院の存在が薄れつつある現代に寺院や僧侶として本来の使命を果たし成功している寺院といえます。寺院、僧侶とは何か、という原点を私はここにきていつも肌で感じ学ばされています。ぜひ、高野山真言宗 冠嶽山鎮国寺頂峯院へお参りください。



地元の子もたちが地車を引いています



日本にお米をもたらした徐福の像がたっています



高野山 真言宗鎮国寺頂峯院
いちき串木野市上名 7647-111

<http://www.chingokuji.org/index.html>

子どもたちとお経を読む

私は空手道場を主宰し毎日子どもたちと稽古をしています。

私が真言宗の僧侶ということもあり稽古の前には必ずお経を子どもたちと読みます。読むようになってもう三年近くになるかとおもいますが、たった五分から長くて十五分程度の読経ですが今は般若心経どころか観音経という子どもが読むには少し長いお経もスラスラと読んでしまいます。おそろくそれを見た大人のみなさんは驚かれるでしょう。私は一緒に読むだけで特に指導などはしていませんが共に実践するということだけでもできるようなことにはなります。私自身がとても字びになっているのです。大人はあれこれと理屈をつけたがります、それが邪魔になっていることも多いのではないのでしょうか。子どもたちのようにただ純粹にやってみる！という心が思わず成長し、不可能が可能になっていく成長につながるように思えます。

お経を毎回読んでいる子どもたちに「お経読むの、めんどくさい？」って聞きますと気持ちがいい！

子どもってほんとに純粹です。私たち大人に足りないのはこの素直さ、純粹さでしょうね。みなさんもぜひ子どもたちと共にお経を読んでみませんか！きつとなにか感じますよ！



はきものきそろえると
心もそろう
心がそろうと
はきものもそろう



人の心が行いが調和することの大切さを説かれた言葉です。

「人の心はわからない」ことはありません。人の心はその人のしぐさを見えてくるものです。



真言宗 金剛山 弘浄院

〒八九一〇八七 鹿児島市吉野町六〇〇九一
TEL 〇九九・二四三・九八三二

後藤 寛浄

<https://koujouin.com/>